

第8回平和首長会議国内加盟都市会議総会

資料

I 報告事項

- 1 平和首長会議メンバーシップ納付金平成29年度決算について…………… 1
- 2 被爆体験伝承者、被爆体験記朗読ボランティア等を活用した平和学習について… 2
- 3 東京オリンピック・パラリンピックに向けて実施する平和の取組について …… 7
- 4 第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催地について …… 7

II 議案

- 1 (1) 未加盟自治体への加盟要請について…………… 8
- (2) 核兵器廃絶に向けた日本政府に対する要請について……………10
- (3) 広島・長崎の被爆者の思いが世界の市民社会で共有されるような環境づくり
について……………12
- 2 総括文書の採択について ……14

I 報告事項

1 平和首長会議メンバーシップ納付金平成 29 年度決算について

(1) 収入

項 目	内 訳	金 額				
メンバーシップ納付金	平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月納付 1,216 自治体	4,391,096 円				
	<table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">日本国内 1,048 自治体</td> <td rowspan="2" style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">日本国内 2,096,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">海外 168 自治体</td> </tr> </table>	日本国内 1,048 自治体	日本国内 2,096,000 円	海外 168 自治体	<table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">海外</td> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">2,295,096 円</td> </tr> </table>	海外
日本国内 1,048 自治体	日本国内 2,096,000 円					
海外 168 自治体						
海外	2,295,096 円					
合 計		4,391,096 円				

※ 年額 2,000 円以上の納付金を納める自治体もある。

※ 金額は平和首長会議事務局が受領した日本円での金額であり、為替レートの影響及び受取銀行手数料の負担により、端数が生じている。

(2) 支出（メンバーシップ納付金充当先）

事業名	内 訳	金 額
平和首長会議事務局の運営	加盟都市データベースの運用保守	1,348,263 円
	メンバーシップ納付金徴収に係る事務	792,435 円
	加盟都市との連絡等事務局運営	532,926 円
2020 ビジョンキャンペーンの展開	2020 年 NPT 再検討会議第 1 回準備委員会での配付物の作成	92,954 円
	「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名活動の展開	146,790 円
	加盟都市への被爆樹木の種・苗木の配付	527,626 円
	原爆ポスター、PR グッズ等の作成	950,102 円
合 計		4,391,096 円

2 被爆体験伝承者、被爆体験記朗読ボランティア等を活用した平和学習について

平和首長会議では、「核兵器のない世界の実現」に向け、その行動計画に基づき様々な取組を実施している。

この行動計画の一つとして、「次代の平和活動を担う青少年育成」が掲げられているように、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けては、世界中の多くの人々とりわけ若い世代の人々に被爆の実相を伝え、ヒロシマ・ナガサキの心を共有していただくことが重要であると考えている。

このため、広島・長崎両市では、国とも連携しながら、次のとおり学校における平和学習等を支援する取組を実施している。

加盟都市におかれては、児童・生徒が被爆の実相に触れることで、平和への思いを共有することが重要であることに鑑み、小・中学校等の広島・長崎両市への修学旅行、又その事前学習等として被爆体験伝承者等派遣事業を活用した平和学習の実施などについて御検討いただきたい。

(1) 被爆体験伝承者等派遣事業（国の事業）

被爆体験伝承者（広島）、家族・交流証言者（長崎）、被爆体験朗読ボランティア（広島・長崎）を、全国の学校・自治体・その他の団体等が主催する平和学習等の場に無料で派遣し、被爆体験伝承講話又は被爆体験記朗読会を通して、被爆体験や平和への思いを伝えている。



（学校から寄せられた声）

「話が具体的で、その時の人の感じたことがよく伝わり、生徒もひきつけられ聞いていた。」

「被害に遭われた方々の苦しみなどが痛切に伝わり、広島への修学旅行に向けて気持ちが引き締まった。」

「生々しい体験が生徒に伝わり、「私は何も知らなかった」と感想で書いている生徒が多くいた。今回の講話は、生徒にとって大きな転機になると感じた。」

(2) 原爆展・平和学習用資料の貸出し

「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター・パネル」、「被爆体験証言者と高校生との共同制作による原爆の絵（複製）」、「紙芝居」などの平和学習資料を、全国の学校・自治体・その他の団体等に対して、配布・貸出しを行っている（送料は原則使用者負担）。

(3) 問い合わせ・申込先

被爆体験伝承者等派遣事業	原爆展・平和学習用資料の貸出し
被爆体験伝承者、被爆体験朗読ボランティア 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 TEL:082-207-1202	「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター・パネル」、「被爆体験証言者と高校生との共同制作による原爆の絵（複製）」など 広島平和記念資料館 TEL:082-541-5544
家族・交流証言者、被爆体験朗読ボランティア 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 TEL:095-814-0055	
	紙芝居など 長崎市被爆継承課 TEL:095-844-3913

※このほかにも多くの資料がありますので詳しくはお問い合わせください。

～被爆体験伝承者等派遣事業～

被爆者の体験を語り継ぐために…

「原爆ドーム（広島）」

被爆体験の伝承者等を 全国へ無料で派遣します

「平和祈念像（長崎）／北村西望作」

戦後70年以上が経過し、被爆者の高齢化が進んでいます。唯一の戦争被爆国として、被爆者の体験や平和への想いを次世代に語り継ぐために、広島、長崎では、被爆者から直接受け継いだ体験を語り継ぐ「伝承者」や、被爆者の体験記を朗読する朗読ボランティアの養成を行っています。

平成30年度から、厚生労働省と広島市、長崎市が協力し、伝承者、朗読ボランティアを全国に無料で派遣する事業を始めます。

被爆者から語り継がれた想いを聞いてみませんか？

◆被爆体験伝承者（広島） 家族・交流証言者（長崎）

広島市・長崎市が養成した伝承者が、被爆者から直接受け継いだ被爆体験や平和への想いを語り継ぎます。

※被爆体験の伝承者については、広島と長崎で名称が異なります。

◆被爆体験記朗読ボランティア（広島・長崎）

国立原爆死没者追悼平和祈念館が募った朗読ボランティアが、被爆を体験した者が自ら綴った体験記などを朗読し、被爆者の体験をお伝えします。

3.1（木）
受付開始

※平成30年4月以降
順次派遣

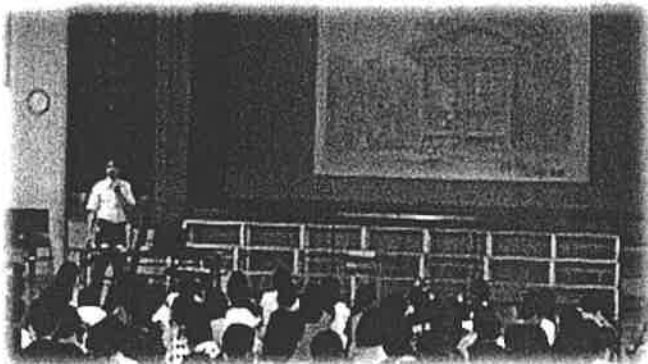
お申し込み＆お問い合わせ先

下記のお申し込み先のホームページに掲載している申込書に、必要事項を記載の上、メール又はファックスで提出してください。

広島	被爆体験伝承者	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 TEL 082-207-1202 FAX 082-543-6273 ホームページ http://www.hiro-tsuitokinenkan.go.jp/ e-mail haken@hiro-tsuitokinenkan.go.jp
	被爆体験記朗読ボランティア	
長崎	家族・交流証言者	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 TEL 095-814-0055 FAX 095-814-0056 ホームページ http://www.peace-nagasaki.go.jp/ e-mail haken@peace-nagasaki.go.jp
	被爆体験記朗読ボランティア	

被爆体験伝承講話 被爆体験記朗読会

伝承講話の様子



被爆者から受け継いだ被爆体験や原爆被害に関する基礎的な説明をスライド資料などを使用しながらお話しします。

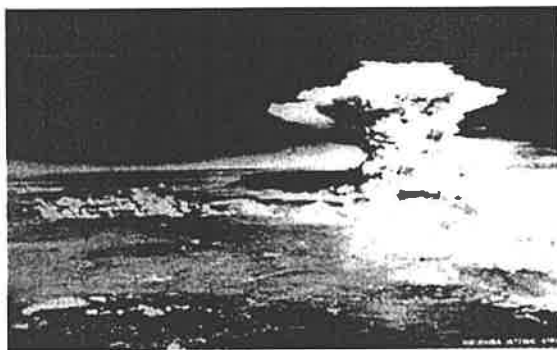
朗読会の様子



被爆のことを知る者のみが書きうる真実や心情が綴られた体験記などを執筆者に代わって朗読します。

被爆体験伝承講話の資料の例

▶ 米軍機より撮影したきのこ雲（広島）



撮影/米軍、提供/広島平和記念資料館

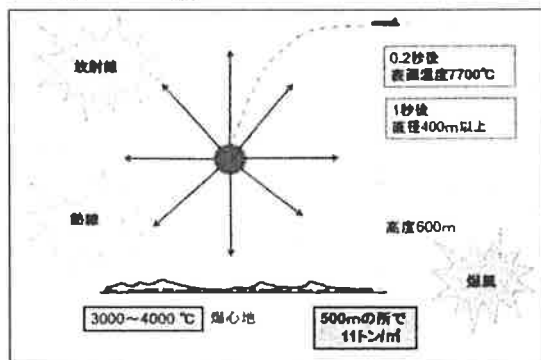
▶ 中学生の学生服（広島）



寄贈/谷口順之助氏

提供/広島平和記念資料館 4

▶ 原爆投下と爆発の様子（広島）



▶ 廃墟と化した浦上天主堂（長崎）



撮影/林重男 所蔵/長崎原爆資料館

平和学習のご案内

平和学習に活用できる資料を、全国の学校や各種平和団体、自治体などが非営利目的の活動を行う際に貸し出しています。

<広島平和記念資料館>

DVD・ビデオなど

No.	資料名・概要	種類
アニメ	1 ピカドン (カラー・1978年 制作) 10分 小学生以上向け	<DVD>無音声
	2 太陽をなくした日 (カラー・2002年 制作) 19分 小学生以上向け	<DVD>日本語
	3 はとよひろしまの空を (カラー・1999年 制作) 21分 小学生以上向け	<DVD>日本語 <ビデオ>日本語
	4 命の水～ひろしま水道物語～ (カラー・2005年 制作) 23分 小学生以上向け	<DVD>日本語版、英語版 <ビデオ>日本語版、英語版 <紙芝居>日本語
	5 つるにのって-とも子の冒険- (カラー・1993年 制作) 27分 小学生以上向け	<DVD>日英仏選択式(日本語字幕付きも選択可) <ビデオ>日本語版、英語版
	6 はだしのゲン1・2 (カラー・1983/1986年 制作) 85分・90分 小学生以上向け	<ビデオ>日本語
	7 夏服の少女たち (カラー・1989年 制作) 30分 小学校高学年以上向け	<DVD>日本語 <ビデオ>日本語(45分版もあり)
	8 ヒロシマに一番電車が走った (カラー・1994年 制作) 30分 小学校高学年以上向け	<DVD>日本語 <ビデオ>日本語
記録映像	9 ヒロシマの記憶-広島を歩く人のために- (カラー(一部白黒)・2004/2005年 制作) 30分 小学生以上向け	<ビデオ>日本語
	10 ヒロシマの記憶 幻の原爆フィルムで歩く広島 (カラー(一部白黒)・2004/2005年 制作) 35分 小学生以上向け	<DVD>日本語
	11 はだしのゲンが伝えたいこと (カラー・2011年 制作) ※利用条件あり 32分 小学校中学年以上向け	<DVD>日本語
	12 ヒロシマ・母たちの祈り (カラー(一部白黒)・1990年 制作) 30分 小学校高学年以上向け	<DVD>日英選択式 <ビデオ>日本語版、英語版 (日本語字幕付版もあり)
	13 きみはヒロシマを見たか (カラー・1987年 制作) 45分 小学校高学年以上向け	<ビデオ>日本語
	14 ヒロシマ・原爆の記録 (白黒(一部カラー)・1970年 制作) 29分 中学生以上向け	<DVD>日本語 <ビデオ>日本語版、英語版
	15 ヒロシマ・ナガサキ核戦争のもたらすもの (カラー・1982年 制作) 46分 中学生以上向け	<ビデオ>日本語版、英語版
	16 The A-bomb ヒロシマで何が起きたか (カラー(一部白黒)・2006年 制作) 46分 中学生以上向け	<DVD>日英選択式
	17 ヒロシマナガサキ (カラー・2007年 制作) ※利用条件あり 86分 中学生以上向け	<DVD>日本語(日本語字幕付きも選択可)
	18 ヒロシマ 被爆者からの伝言 (カラー・2016年 制作) 22分	<DVD>日本語(日英字幕・日本語字幕付きも選択可)
	19 ヒロシマから未来へ 広島平和記念資料館 (カラー・2008年 制作) 28分	<DVD>日本語版、英語版
	20 ヒロシマの証言、ナガサキの証言 (カラー・1986年～制作) 30分(10分×3人分)又は20分(1人分)	<DVD>日本語版、英語版 <ビデオ>日本語版、英語版

伝え続けたいヒバクシャからの手紙朗読CD

区分	内容	数量・ケースの形状等
C D	広島・長崎の被爆者が被爆体験やその後の人生、亡くなった家族への想いなどを自らつづった手紙を、NHKのアナウンサーやキャスターが朗読した5分間のラジオ番組を収録したもの(シナリオ付き)	2枚組CD(17番組分収録) ケース:A4サイズ

ポスター・絵

No.	資料名・内容	数量・ケースの形状
1	ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター	1セット30枚 サイズ A1(約84cm×約59cm) 輸送用ケース:約45cm×約64cm×約3cm 約3kg
2	ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル	1セット30枚 サイズ A1(約85cm×約60cm) 輸送用ケース:(約64cm×約91cm×約15cm 約11kg)×3ケース
3	サダコと折り鶴ポスター (小学生以上向け)	1セット26枚 サイズ A1(約84cm×約59cm)又はA2(約59cm×約42cm) 輸送用ケース:<A1>約46cm×約64cm×約4cm 約3kg、<A2>約46cm×約64cm×約3cm 約2.5kg
4	ヒロシマを知ろう!! 8月6日、きのご雲の下で (小学生以上向け)	1セット17枚 サイズ A2(約59cm×約42cm) 輸送用ケース:約46cm×約64cm×約3cm 約2.5kg
5	市民が描いた原爆の絵(複製)	1セット約30枚 サイズ 約42cm×約53cm 輸送用ケース:約46cm×約56cm×約8cm 約7kg
6	被爆体験証言者と高校生との共同制作による原爆の絵(複製)	1セット63枚 輸送用ケース:(約46cm×約56cm×約8cm 約7kg)×2ケース ※印刷して活用できるデータ入CD-Rの貸出しもあります。
7	子どもたちの平和ポスター	1セット約30枚 輸送用ケース:約46cm×約64cm×約3cm 約3kg

平和学習セット（平和学習や修学旅行の事前学習にご利用ください。）

区分	内 容	ケースの形状
USB	パワーポイントデータ(原爆被害の概要等を分かりやすくまとめたもの。指導者用シナリオ付き) 【小・中高用入】	
図 書	広島平和記念資料館図録 ヒロシマを世界に	<被爆資料付き> 約32cm×約45cm×約20cm 約3.5kg
DVD	①ヒロシマの証言(被爆体験者の証言を収録したもの) 30分 ②ヒロシマから未来へ 広島平和記念資料館 28分	<被爆資料なし>
ポスター	広島に投下された原子爆弾「リトル・ボーイ」の実物大ポスター(306cm×100cm)	約30cm×約35cm×約5cm 約2kg
※被爆資料	被爆瓦1点(触れる資料) ※被爆資料付き 又は 被爆資料なし のどちらかを選択できます。)	

「サダコと折り鶴」パッケージ（サダコと折り鶴ポスターとの併用をお勧めします。）

区分	内 容	ケースの形状
図 書	①折り鶴の子どもたち ②折り鶴は世界にはばたいた ③新装版 飛べ!千羽づる ④Do you know Sadako? ⑤サダコ ⑥サダコ「原爆の子の像」の物語 ⑦さだ子と千羽づる	約26cm×約35cm×約12cm <DVDセット>約3.4kg <ビデオセット>約3.7kg
DVD 又はビデオ	①つるにのって-とも子の冒険-(DVD又はビデオ) カラー27分(アニメーション) ②禎子の思い出 談 佐々木繁夫氏(佐々木禎子さんの父) 21分(DVD又はビデオ)	
CD-R	キッズ平和ステーション(広島平和記念資料館ウェブサイト「キッズ平和ステーション」をCD-Rにコピーしたもの)	

平和の絵本

区分	内 容	ケースの形状
Aセット:(小学生以上)	①アオギリのねがい ②絵本 よっちゃんのビー玉 ③絵本 まっ黒なおべんとう ④さだ子と千羽づる ⑤伸ちゃんのさんりんしゃ	約35cm×約27cm×約7cm 約3kg
Bセット:(小学生以上)	①絵本 おこりじそう ②絵本 はだしのゲン ③ひろしまのエノキ ④ひろしまのピカ ⑤まちゃんと	約35cm×約27cm×約7cm 約3kg
Cセット:(小学生以上)	①新装版 絵本 クロがいた夏 ②ヒロシマのいのちの水 ③さがしています ④いわたくんちのおばあちゃん ⑤おりづるの旅	約35cm×約27cm×約7cm 約3kg

<長崎市被爆継承課>

区分	内 容	数量・ケースの形状
紙芝居・絵本	①紙芝居「城山国民学校の物語」 ②紙芝居「瞳の中の子どもたち」(デジタル紙芝居(DVD(日本語版、英語版))) ※配布 ③絵本「私たちが伝える被爆体験」	①A3横 20場面 ②A3横 20場面 ③A4横 34ページ
平和ナガサキ	デジタル紙芝居「あの日8月9日 そして、これから」(日本語版・英語版) YouTube上に掲載。日本語と英語それぞれの字幕とナレーションが挿入されています。 ※自由閲覧	28場面、約18分の映像
	被爆体験を継承し、平和の大切さを発信できる児童生徒の育成に努めることを目的として作成し、長崎市内小中学校での平和学習で活用されています。 ※ホームページからダウンロード	小学生版(小学3年生~6年生用) 中学生版(中学1年生~3年生用)

<長崎原爆資料館>

区分	内 容	数量・ケースの形状
写真パネル	原爆投下後の惨状を写した写真を主にした5種類のセットがあります。 (Aセット30枚、Bセット38枚、Cセット41枚、Dセット20枚、Eセット58枚)	Aセット51cm×72cm、BセットCセット45cm×60cm、Dセット30cm×40cm、Eセット52cm×65cm
被災資料	実際に被爆した資料等を1セット約10点で構成しています。	全9セット
スライド	①被爆後の写真・原爆投下後の惨状を映した写真など ②原爆絵本「あの夏の日」の原画	①39枚セット ②26枚セット

【申込み・問い合わせ先】

広島平和記念資料館 啓発課

受付専用電話(082)541-5544

長崎市被爆継承課

電話(082)844-3913

長崎原爆資料館

電話(095)844-1231

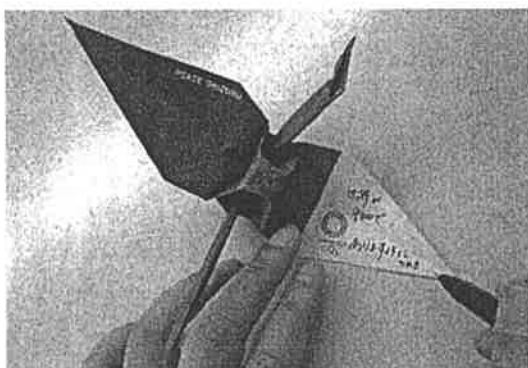
3 東京オリンピック・パラリンピックに向けて実施する平和の取組について

オリンピック・パラリンピックは、世界最大のスポーツの祭典であると同時に平和の祭典でもあり、国際的な相互理解や友好関係を増進させる絶好の機会である。世界中が注目する2020年の東京オリンピック・パラリンピックは、平和への思いを市民社会が共有する環境作りを進める上で、大変貴重な機会になると考えている。

平和首長会議としては、この機会を捉え、各加盟都市の参画も得ながら、「核兵器のない平和な世界」の実現に向けた機運の醸成につながる様々な取組を行うこととしたい。

具体的には、平和首長会議として、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が進めている「PEACE ORIZURU」プロジェクトに協力することとし、各加盟都市による折り鶴の作成とSNSへの投稿を呼び掛けることを検討している。次に、2020年に開催予定の平和首長会議総会へのオリンピック関係者の招へい、東京を含めた全国各地での原爆ポスター展の開催や折り鶴の全国リレー映像の製作を検討している。さらには、組織委員会と連携した取組として、開閉会式等での平和のメッセージの発信、平和に取り組む若者の関連イベントへの参加などについて申し出ているところである。(参考:8月9日閉会式はながさき平和の日)

特に、組織委員会との連携により行う事業については、同組織委員会等の意向が確定し、何らかの平和の取組が可能となった場合又は組織委員会から平和の取組について要請があった場合には、その取組を進めたいと考えている。その際には、加盟都市にも参加を呼び掛けたい。



折り鶴を使った平和のメッセージの発信
組織委員会が進めているプロジェクト「PEACE ORIZURU」



平和首長会議総会の様子(平成29年・長崎市)



原爆展の開催(平成25年・スーダン)

(写真は全てイメージ)

4 第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催地について

東京都国立市において、平成31年(2019年)11月頃に開催予定。

II 議案

1 (1) 未加盟自治体への加盟要請について

昨年8月に開催した第9回平和首長会議総会で、2020年までの核兵器廃絶を目指す「2020ビジョン」の具体的な展開を図るための行動計画(2017年-2020年)を決定し、その中で、組織基盤及び機能の拡充に向けた平和首長会議全体の取組として、「加盟都市の拡大」を掲げ、「様々なルートを活用した未加盟都市への加盟要請に取り組む」こととしている。

加盟都市数の目標については、平成27年(2015年)の第9回理事会において、2020年までに、世界で10,000都市加盟を目指すこととし、また、昨年8月の国内加盟都市会議総会において国内加盟率100%を目指すこととした。

これらを受け、各加盟都市において加盟要請活動を行ってきた結果、昨年の総会以降、加盟国・地域は1増、加盟都市数は世界で258増の163の国・地域の7,675都市、うち国内は48増の1,730都市(全市区町村の99.4%)となり、未加盟都市11となっている(平成30年11月1日現在)。

国内加盟都市会議としては、上記目標のうち、とりわけ海外の加盟都市数増を目指し、各自治体の状況に応じた加盟要請活動を展開することとする。

また、国内の未加盟都市については、平和首長会議として引き続きトップレベルで働き掛けることとしているが、未加盟都市の近隣の加盟都市におかれても加盟への働き掛けをお願いしたい。

[各自治体における海外都市に対する加盟要請活動の具体例]

① 姉妹・友好都市への呼び掛け

未加盟の姉妹・友好都市に対し、書簡(次ページにひな型を掲載)により、又は交流事業を行う機会を利用して加盟要請を行う。

② 他都市訪問・受入の際の呼び掛け

経済観光交流などで未加盟自治体を訪問し、又は受け入れる機会を利用して加盟要請を行う。

なお、加盟要請に当たっては、依頼書(※)を送付又は手交する。

※加盟要請依頼書は平和首長会議のホームページに掲載。(毎月更新)

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/outlines/join.html>

日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、ハンブル

平成 30 年（2018 年） 月 日

姉妹・友好都市 首長 様

〇〇市長 〇〇 〇〇

「平和首長会議」への加盟について（お願い）

拝啓 貴市の姉妹・友好都市の〇〇市長として謹んで御挨拶申し上げます。

この度は、本市が加盟している平和首長会議について御案内したく、御連絡を差し上げます。平和首長会議は昭和 57 年（1982 年）の設立以来、世界の都市と連帯し、核兵器廃絶と世界平和の実現を訴え続けてきました。会長は広島市長、副会長は長崎市長のほか世界の 15 都市の市長が務めており、本年 1 月 1 日現在、163 の国・地域から 7,675 の都市が加盟しています。国連経済社会理事会の NGO にも登録されている超党派の組織であり、世界の自治体組織や平和 NGO とも連携して様々な活動を展開しています。

私たち、地方自治体の首長の共通の使命は、市民の安全で安心な暮らしを守ることです。そのために本市が〇〇年から加盟している平和首長会議では、各加盟都市が、国境を越えて都市間での相互信頼を構築することを奨励しています。また、気候変動、住居問題、難民問題、銃による暴力やテロなど、それぞれの国・地域が抱える諸課題に取り組むことを支持しています。核兵器のない世界と世界恒久平和という共通のゴールを目指しつつ、安全で活力のある都市の実現に向けた各加盟都市の自主的な取組を尊重しています。

より多くの自治体が平和首長会議に加盟して下さることで、核兵器のない平和な世界を求める国際世論の拡大につながります。是非この機会に別添の平和首長会議「加盟要請依頼書」をお読みいただき、平和首長会議への加盟を検討して下さいますようお願い申し上げます。

平和首長会議への加盟を通じて、都市レベル、市民レベルで相互理解と信頼関係が一層深まり、協働の輪が広がっていくことを願っております。

最後になりましたが、貴台の御健勝と今後ますますの御活躍を祈念致します。

敬具

〇〇〇役所
〒〇〇〇-〇〇〇 〇〇〇〇〇番〇号
〇〇〇〇〇 〇〇〇課
TEL : (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇 FAX : (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇
E-mail : 〇〇〇〇

1 (2) 核兵器廃絶に向けた日本政府に対する要請について

核兵器は「非人道兵器」の極みであり、「絶対悪」であるという基本認識の下、日本政府に対し、核兵器廃絶に向けた取組を促す次の要請文を提出する。なお、要請文の提出は、平和首長会議会長である広島市長と副会長である長崎市長により行う。

内閣総理大臣 安倍 晋三 様

核兵器廃絶に向けた取組の推進について（要請）

平和首長会議（会長：広島市長、副会長：長崎市長等世界の15都市の市長）は、昭和57年（1982年）の設立以来、世界の都市と連帯し、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けてきました。平和首長会議には、現在世界の163の国・地域から7,675の都市が加盟しており、その数は増加の一途をたどっています。そのうち、日本国内の加盟都市は全市区町村の99.4%に当たる1,730に及んでおり、第8回目となる平和首長会議国内加盟都市会議総会を11月5日及び6日に岐阜県高山市で開催しました。

1945年8月、広島・長崎両市は一発の原子爆弾により一瞬にして廃墟と化し、両市合わせて21万人を超える多くの人々の尊い命が奪われました。放射線による被爆者の苦しみは今も続いています。その広島・長崎の被爆の実相を見れば、核兵器は「非人道兵器」の極みであり、「絶対悪」であることは明らかです。

こうした中、平和首長会議では、平均年齢が82歳を超えた被爆者に一人でも多く「核兵器のない世界」を見ていただくため、2020年までの核兵器廃絶を目指す「2020ビジョン」の展開を図ってきており、今後とも市民の安全で安心な暮らしを守ることを目指して、加盟都市の市民、NGO等との連携を強固なものにしていきます。

核兵器をめぐるのは、昨年7月の核兵器禁止条約の採択を始め、ICANのノーベル平和賞受賞、米朝首脳会談の開催など、核兵器廃絶、核軍縮・不拡散に向けた大きな動きが国際社会である一方、米国における臨界前核実験の実施や核兵器の役割を大幅に強化する内容となった核態勢の見直し（NPR）、核戦力増強の方針が示されたロシアの年次教書演説、さらには、中距離核戦力（INF）全廃条約の破綻の危機等、相反する動きもあります。

核保有国を始め国際社会は、「核兵器のない世界」こそあるべき姿であるとの認識の下、改めてNPT第6条の核軍縮の誠実交渉義務を確認し、具体的な核軍縮の措置を速やかに実施するべきです。核兵器禁止条約は、この核軍縮の延長線上にあり、国際社会は、現実的な手順を踏みながら、核兵器は違法であり、無くしていくという最終目標を目指して、誠実で忍耐強い対応を続けることが重要であると考えます。

核保有国と非核保有国の橋渡し役を果たすと表明している日本政府には、核兵器禁止条約が全ての国により締結されることを多くの被爆者が待ち望んでいるとの認識を共有し、核兵器禁止条約を締結するとともに、NPT等の体制下での核軍縮の進展に力を尽くしていただくことを強く要請いたします。

平成30年（2018年）11月6日

平和首長会議国内加盟都市会議

代表 平和首長会議会長 広島市長 松井 一實
平和首長会議副会長 長崎市長 田上 富久
第8回国内加盟都市会議総会開催地市長 高山市長 國島 芳明

内閣総理大臣 安倍 晋三 様

核兵器廃絶に向けた取組の推進について（要請）

平和首長会議（会長：広島市長、副会長：長崎市長等世界の15都市の市長）は、昭和57年（1982年）の設立以来、世界の都市と連帯し、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けてきました。平和首長会議には、現在世界の163の国・地域から7,675の都市が加盟しており、その数は増加の一途をたどっています。そのうち、日本国内の加盟都市は全市区町村の99.4%に当たる1,730に及んでおり、第8回目となる平和首長会議国内加盟都市会議総会を11月5日及び6日に岐阜県高山市で開催しました。

1945年8月、広島・長崎両市は一発の原子爆弾により一瞬にして廃墟と化し、両市合わせて21万人を超える多くの人々の尊い命が奪われました。放射線による被爆者の苦しみは今も続いています。その広島・長崎の被爆の実相を見れば、核兵器は「非人道兵器」の極みであり、「絶対悪」であることは明らかです。

こうした中、平和首長会議では、平均年齢が82歳を超えた被爆者に一人でも多く「核兵器のない世界」を見ていただくため、2020年までの核兵器廃絶を目指す「2020ビジョン」の展開を図ってきており、今後とも市民の安全で安心な暮らしを守ることを目指して、加盟都市の市民、NGO等との連携を強固なものにしていきます。

核兵器をめぐるのは、昨年7月の核兵器禁止条約の採択を始め、ICANのノーベル平和賞受賞、米朝首脳会談の開催など、核兵器廃絶、核軍縮・不拡散に向けた大きな動きが国際社会である一方、米国における臨界前核実験の実施や核兵器の役割を大幅に強化する内容となった核態勢の見直し（NPR）、核戦力増強の方針が示されたロシアの年次教書演説、さらには、中距離核戦力（INF）全廃条約の破綻の危機等、相反する動きもあります。

核保有国を始め国際社会は、「核兵器のない世界」こそあるべき姿であるとの認識の下、改めてNPT第6条の核軍縮の誠実交渉義務を確認し、具体的な核軍縮の措置を速やかに実施するべきです。核兵器禁止条約は、この核軍縮の延長線上にあり、国際社会は、現実的な手順を踏みながら、核兵器は違法であり、無くしていくという最終目標を目指して、誠実で忍耐強い対応を続けることが重要であると考えます。

核保有国と非核保有国の橋渡し役を果たすと表明している日本政府には、核兵器禁止条約が全ての国により締結されることを多くの被爆者が待ち望んでいるとの認識を共有し、核兵器禁止条約を締結するとともに、NPT等の体制下での核軍縮の進展に力を尽くしていただくことを強く要請いたします。

平成30年（2018年）11月6日

平和首長会議国内加盟都市会議

代表 平和首長会議会長 広島市長 松井 一實
平和首長会議副会長 長崎市長 田上 富久
第8回国内加盟都市会議総会開催地市長 高山市長 國島 芳明

1 (3) 広島・長崎の被爆者の思いが世界の市民社会で共有されるような環境づくりに ついて

核兵器をめぐる国際情勢は、昨年7月の核兵器禁止条約の採択、ICANのノーベル平和賞受賞、米朝首脳会談の開催など、核兵器廃絶、核軍縮・不拡散に向けた大きな動きがある一方、米国における臨界前核実験の実施や核兵器の役割を大幅に強化する内容となった核態勢の見直し（NPR）、核戦力増強の方針が示されたロシアの年次教書演説、さらに今般の米国による中距離核戦力（INF）全廃条約離脱表明と、逆行する動きが続けて出てきており、非常に不透明かつ不安定な状況になってきている。

このような状況の中で、世界的な核軍縮の動きを進展させるためには、世界中の市民社会に向けて広島・長崎の被爆者の思いを伝えるメッセージを発信することにより、核兵器をめぐる不透明かつ不安定な現状に対する認知度を高め、核兵器のない世界こそ今後目指すべき世界であるとの認識やそれを切望する思いが広く共有されるような環境づくりを目指すことが何よりも重要である。

このため、平和首長会議では、核保有国を始め各国のリーダー都市が中心となり、マスメディア等を活用してそれぞれの地域の市民社会においてそうした環境づくりを進めていきたい。

今回、その先鞭を切るべく、国内加盟都市会議が、日本の加盟都市の地域グループとして、核保有国及び周辺国の地域グループと連携を図りながら、「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」という被爆者の切なる思いを、核保有国の市民社会に共有してもらうための発信を行うことを提案する。

① 市民社会に被爆者の思いを受け止めてもらうための方策

- ・各国の大手紙又は有力地方紙への記事掲載
- ・平和問題に対する意識が高い読者層を有するオンライン・ニュースへの記事掲載
- ・核兵器廃絶の問題に取り組むオピニオン・リーダー、セレブリティによる発信など

② 発信内容

- ・広島・長崎の被爆者の「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」との思いや核兵器廃絶への切なる願いなど
- ・平和首長会議国内加盟都市会議として被爆者の思いを礎として核兵器のない世界の実現こそ市民社会が目指す真の姿であると呼び掛けるメッセージ

【参考1：リーダー都市を中心とした地域グループ活動の展開】

世界の23のリーダー都市は各国又は各地域の状況に応じて、「核兵器のない世界の実現」と「安全で活力のある都市の実現」を目標に掲げ、世界恒久平和の実現に向けて、様々な取組を進めている。

例えば、全米市長会議は、13年連続で核兵器廃絶に向けて平和首長会議の取組に賛同する決議を採択している。本年は、米国のリーダー都市であるデモイン市長の尽力により、全米市長会議会長を含め、これまでで最多の26人の市長による共同提案となり、最終日の総会において全会一致で採択されたものである。

全米市長会議の採択を契機に、米国内の州議会や市議会において同様の決議文を採択する動きが広がっている。

また、マンチェスター市、ハノーバー市などのリーダー都市は定期的に地域会議を開催し、地域活動を活発に行っている。

こうしたリーダー都市の努力の積み重ねにより、地域の実情に応じた活動が展開されている。

【参考2：芸術家による発信】

第11回ヒロシマ賞受賞作家による活動

ヒロシマ賞は、美術の分野で人類の平和に貢献した作家の業績を顕彰し、核兵器廃絶と世界恒久平和を願う「ヒロシマの心」を、美術を通して広く世界へとアピールすることを目的として、広島市が平成元年（1989年）に創設した賞で、3年に1回授与している。

本年、第11回ヒロシマ賞は、アルフレド・ジャー氏に授与されることが決定した。

ジャー氏は街中で“TEACH US TO OUTGROW OUR MADNESS”と記した看板をつけ、伝道者のように人々に訴えかけるパフォーマンスを行っている（スクリーンの映像を参照）。看板に書かれた言葉はイギリスの詩人オーデンの詩の一節であり、作家の大江健三郎氏は自らの短編集の表題として、この詩句の訳「われらの狂気を生き延びる道を教えよ」を用いた。ジャー氏は、1995年に広島市現代美術館で開催された被爆50周年記念展のために、この言葉をタイトルとした作品を制作しており、現在、現代美術館のコレクションとなっている。

2 総括文書の採択について

第8回平和首長会議国内加盟都市会議総会総括文書

平和首長会議は、昭和57年（1982年）の設立以来、世界の都市と連帯し、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けてきた。平和首長会議には、現在世界の163の国・地域から7,675の都市が加盟しており、その数は増加の一途をたどっている。そのうち、日本国内の加盟都市は全市区町村の99.4%に当たる1,730に及んでおり、第8回目となる平和首長会議国内加盟都市会議総会を平成30年（2018年）11月5日及び6日の2日間岐阜県高山市で開催した。

初日は高山市プログラム「ピース フロム 高山」として、ソプラノ歌手独唱、高山市 PR 映像放映、高山市の平和の取組発表、海外姉妹友好都市からの平和メッセージ放映、高山市平和都市宣言の紹介、朝日中学校の平和の取組発表・合唱、平和首長会議青少年「平和と交流」支援事業「HIROSHIMA and PEACE」高山市参加者による報告、瞑想が行われた。

2日目は、まず、東京都多摩市長、岐阜県瑞穂市長及び兵庫県加西市長からそれぞれの自治体の平和に関する取組事例の報告を受けた。

次に、平和首長会議事務総長から世界情勢と平和首長会議の取組について報告を受けた。

続いて、平和首長会議への加盟要請活動の展開、日本政府に対する核兵器廃絶に向けた取組の推進についての要請文の提出及び広島・長崎の被爆者の思いが市民社会で共有されるような環境づくりについて審議・決定した。

以上のことに加え、次の事項について事務局から報告を行った。

- ① 平和首長会議メンバーシップ納付金平成29年度決算について
- ② 被爆体験伝承者、被爆体験記朗読ボランティア等を活用した平和学習について
- ③ 東京オリンピック・パラリンピックに向けて実施する平和の取組について
- ④ 第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催地について

最後に、私たちは、核兵器を廃絶し、戦争のない平和な世界を実現するため、加盟都市を着実に拡大し、共に行動していくことをここに宣言する。

平成30年（2018年）11月6日
第8回平和首長会議国内加盟都市会議総会